

姫路市産アオスジアゲハ異常型の調査

相坂耕作

筆者は1979年及び1980年にかけて妻の協力を得、多数のアオスジアゲハを兵庫県姫路市網干区で調査した。

トベラの白い花に吸蜜にくる際採集観察をしたところ次の多くの異常型が得られたので発表しておく。尚同地で採集されたアオスジアゲハ・ナガサキアゲハを寄贈賜った菅原昭夫氏、この発表に際し御支援や御助言をいただいた広畑政己氏そして妻純子に深謝する。

写真1

この異常型はいわゆるエサキ型 (f. esakii) で前翅中室内に過剰紋が現れるタイプでこの個体は現れ方が小さい。尚裏面も同様に出ている。

Data 19-V-1980 1♂ 姫路市網干区新在家 相坂純子

写真2

これも写真1同様のエサキ型 (f. esakii) で前翅中室内に過剰紋が大きく現れエサキ型の特徴をよく現わしているタイプで裏面も同様よく現れている。

Data 19-V-1980 1♂ 姫路市網干区新在家 相坂純子

尚他にも表面には現れず裏面のみ現れたエサキ型も得られた。

写真3

この異常型はいわゆるハンキユウ型 (f. hankyuence) で前翅表および裏面第8室に過剰紋が現れ2個の斑紋となるタイプであり他にも1頭同様の型が得られた。又右前翅のみ同様の型で左前翅は全然異常がないタイプが得られた。

Data 19-V-1980 1♂ 姫路市網干区新在家 相坂純子

写真4

この異常型はいわゆるエサキ型 (f. esakii) とハンキユウ型 (f. hankyuence) とがミックスしたような個体である。説明を加えると左翅はハンキユウ型で過剰紋が現れ小さいがエサキ型もある。右翅はエサキ型のみ現れている。尚裏面も同様に現れている2重の異常型である。

Data 19-V-1980 1♂ 姫路市網干区新在家 相坂純子

写真5

この異常型は前翅端の斑紋が横にのびた個体である。裏面も同様横にのびている。わずかこの1頭のみでこのタイプの異常型は少ない様である。

Data 19-V-1980 1♂ 姫路市網干区新在家 相坂純子

写真6

この個体は異常に小型であり普通の2回り位小さく、晩秋に寒さのため十分に成長が出来ずに蛹化し越冬したものであろう。

Data 24-V-1979 1♂ 姫路市網干区新在家 相坂純子

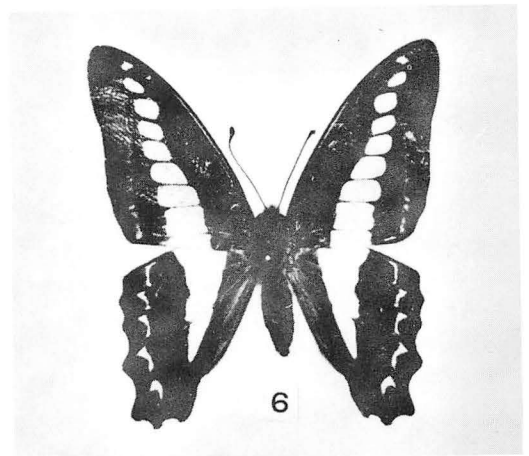
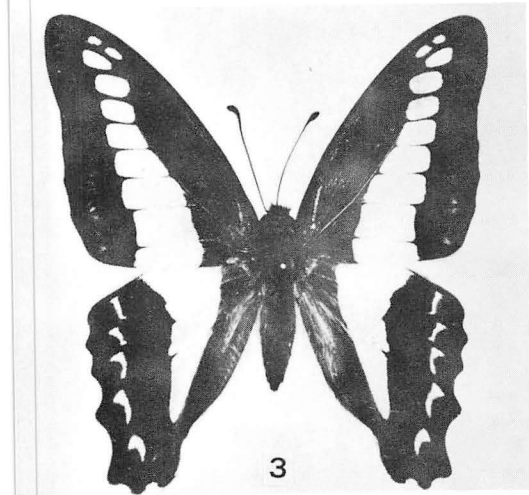
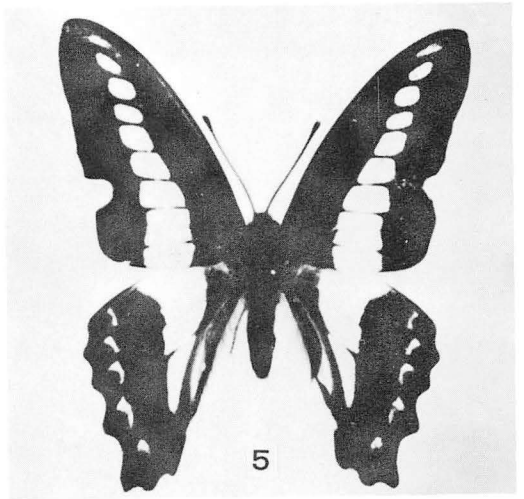
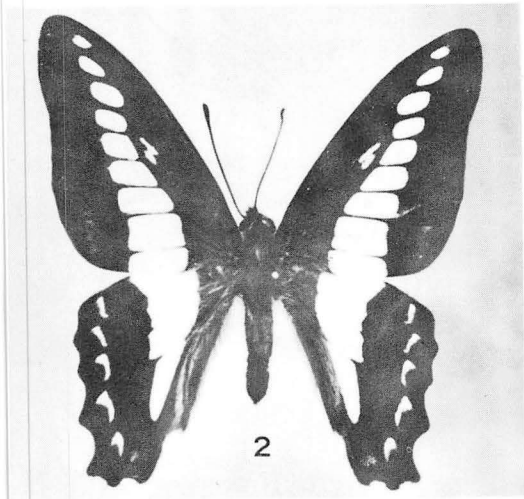
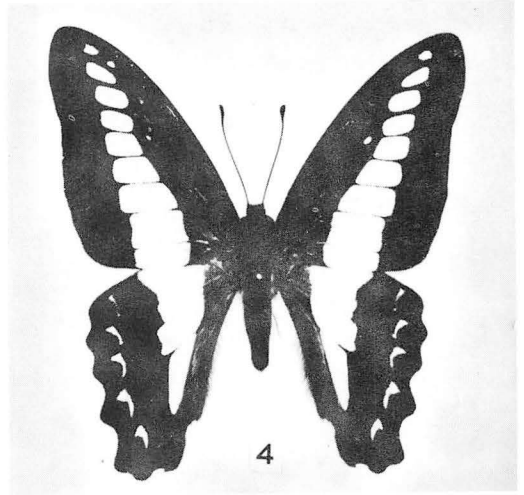
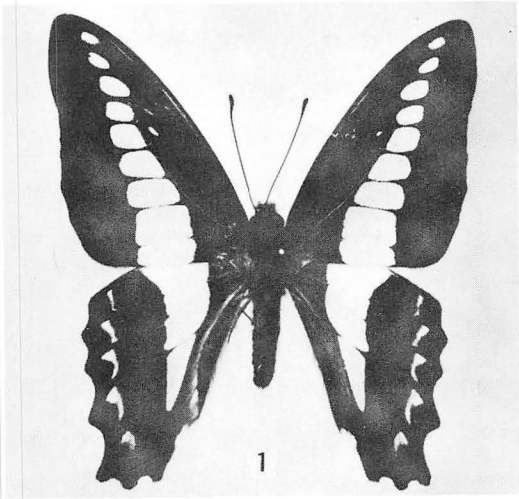
尚他にも同様小型の個体が -V-1980 1♂ が同地で1個体得られた。

今回の調査により約100頭を得たが、その中で異常型を現わした個体は12頭 (軽い異常型も含む) であり12%前後の確率を表わした。

同地において多くの型の異常型が得られたが斑紋異常ばかりであり、色彩異常は全然なかった。またアオスジアゲハの異常型にはタンノ型スズキ型スルスミ型などもあり来年以後も同地で調査を続け姫路市網干区産のアオスジアゲハの異常型解明へより前進して行きたいと思う。尚採集地である姫路市網干区は揖保郡御津町と隣接しており、1978年5月に御津町室津で入江照夫氏 (ひろおびNo.4, 1979) がエサキ型を得られていることを付記しておきます。

【参考文献】

- 浜 祥明 (1978) Graphium 属の異常型 MDK NEWS Vol. 28, No.78Dec.
 日浦 勇 (1969) 大阪市立科学博物館収蔵資料目録 第1集「日本列島の蝶」
 入江照夫 (1979) ひろおび・No.4, 1979. 播磨蝶友会
 藤岡知夫 (1975) 日本産蝶類大図鑑・講談社



(S. 05 : KOUZAKU AISAKA 姫路市)